

【校則】 *Be Gentleman* 紳士であれ

アメリカの教育者・クラーク博士が、1876年（明治9）、開校したばかりの札幌農学校（現在の北海道大学）に初代教頭として着任した際、「規則で人間をつくることはできない。この学校に、校則はたった一つあればいい。」と言って定めた校則。本校の校則で言う「紳士」とは、男女に関係なく、知性に富み、礼儀正しく、思いやりにあふれる人のこと。

誰もが快適な学校生活を送るための心構え

社会に出ても必要とされる「あじみこし（挨拶・時間・身だしなみ・言葉遣い・姿勢）」について

あ

いさつ

誰に対しても自分から気持ちよい挨拶をしましょう。

じ

かん

集団生活において、時間は必ず守りましょう。

み

だしなみ

清潔感ある身だしなみ、学習の場にふさわしい身だしなみ、
安心・安全を最優先した身だしなみをしましょう。

こ

とばづかい

時や場所や相手に応じた言葉遣い、美しい言葉遣い、
人の心を温めるような言葉遣いをしましょう。

し

せい

授業中や食事中、人の話を聞くときなど、
時や場所や相手に応じた正しい姿勢をとりましょう。

学校に持ってきてよい物について

令和元年度、生徒の皆さんの意見も取り入れて、新たな教育目標【学ぶ・鍛える・思いやる】を制定しました。学校にもってくるものは、その教育目標を達成するために必要なものだけにしましょう。（それ以外のものを持ってくる必要のあるときは先生方に相談してください）

